

第6章 戦略の推進

1. 推進体制

本戦略の推進においては、庁内関係各課との情報共有を行いながら、推進管理を「みどり自然課」が担当します。また、「(仮称) 所沢エコネット交流会」を設置し、多様な主体の参加による生物多様性の取り組みの推進を図ります。

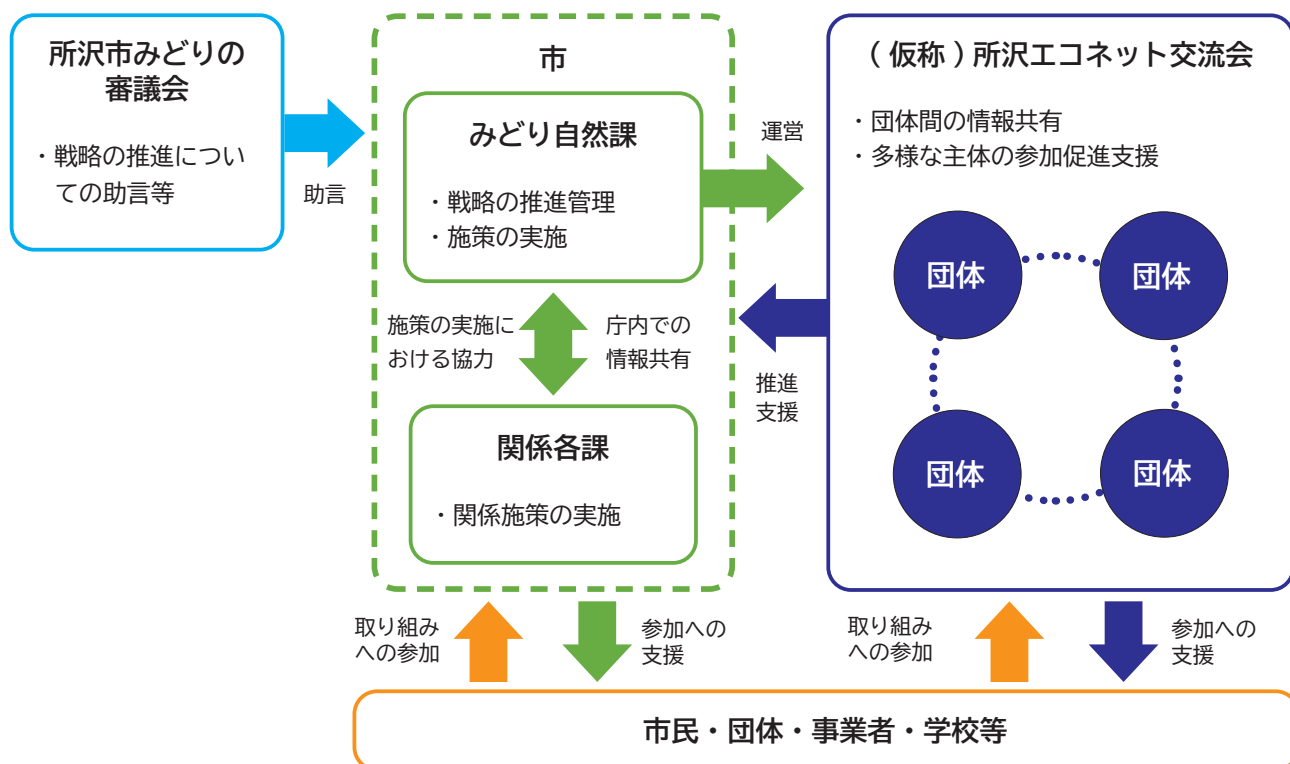


図 6-1 戦略の推進体制

■ (仮称) 所沢エコネット交流会の目的と実施内容（案）

1. 設置の目的

生物多様性の保全に取り組む団体間の交流・情報交換を活発にすることによって、生物多様性の取り組みを推進すること

2. 主な実施内容

(1) 生物多様性の保全や戦略の推進状況などの情報共有

- 例)
- ・ニュースレターの発行
 - ・インターネットによる情報発信・参加団体の取り組みの広報
 - ・報告会の実施 など

(2) 多様な主体の生物多様性の保全に資する活動への参加促進

- 例)
- ・活動を希望する学校や企業等と、それを支援可能な団体のマッチング
 - ・団体や学校等の取り組みに生物多様性を反映するためのアドバイザーの派遣等
 - ・所沢エコツアー*の実施と参加者の受け入れ など

2. 各主体に期待される役割

戦略を推進するためには、さまざまな人や組織の協力と連携が不可欠です。「第4章 実施方策」の各施策の取り組みの末尾に「関係主体」を記載しているほか、ここでは特に各主体に期待される役割を示します。

■市民

- エコラベル*の付いた商品の購入、地球温暖化*の緩和やプラスチックごみの抑制など、生物多様性を守るエコライフの実践
- 庭やベランダなどの身近な場所に生きものを呼ぶ取り組みや、身近な場所での外来生物*の駆除の実施
- 生物多様性に関するイベントや講座への参加
- 「生物生息空間」を保全・再生・創出する活動への参加

■団体

- 「生物生息空間」の保全・再生・創出
- 市民や事業者が生物多様性を守る取り組みに参加する場の提供や、専門家としての助言や指導
- 生物多様性に関する情報発信、普及啓発

■事業者

- CSR*やESG*活動、SDGs*の一環としての、生物多様性保全活動への参加や、団体の活動への支援
- 事業所や所有地における「生物生息空間」の保全・再生・創出
- 調達、生産、流通、廃棄などの事業活動における生物多様性への配慮
- エコラベル商品の開発、販売

■市

- 緑地保全制度*による保全指定や公有地化*による「生物生息空間」の保全
- 市が管理する公共公益施設*における「生物生息空間」の保全・再生・創出
- 本戦略の推進管理と実現にむけた各主体への働きかけと調整
- 団体や事業者の取り組みの支援
- 生物多様性に関する情報発信、普及啓発

■国・県

- 国が管理する公益施設等における「生物生息空間」の保全・再生・創出
- 県が管理する公益施設（公園、道路、河川、調節池等）における「生物生息空間」の保全・再生・創出
- 緑地保全制度による保全指定や公有地化の分担・協力
- 特定外来生物*の駆除への協力

3. 推進管理

(1) 数値目標

施策の進捗を示す数値目標として、以下の8つの数値目標を設定します。

表 6-1 数値目標

目標	施策	数値目標（目標年 2030 年（令和 12 年））
目標 1 「生物生息空間」を守り、創り、つなぎ、エコロジカルネットワークをつくります	1-1-1. 「緑地保全制度」による保全指定の推進	「緑地保全制度*」による保全指定面積 → 5 ha/ 年（目標年に 120ha）
	1-1-2. 生物生息空間の公有地化の推進	公有地化面積 → 1 ha/ 年（目標年に 47ha）
目標 2 身近な自然や生きものへの「親しみ」と「関心」を高めます	2-1-3. 地域で子どもが自然や生きものにふれあう機会を増やす	「生きものと子どもが集まる森づくり」の実施か所数 → 1 か所 / 年（目標年に 10 か所）
	2-2-1. 自然や生きものを学ぶ講座の開催	「所沢市生涯学習まちづくり出前講座*」等の実施 → 1 回 / 年（目標年に累計 10 回）
目標 3 「生きものにぎわい」を守るために行動する人や団体等を増やします	3-1-2. 団体等の活動への生物多様性の反映	団体等を対象にした生物多様性についての講習会等の実施件数 → 1 回 / 年（目標年に累計 10 回）
	3-2-2. 生物多様性に配慮した活動の支援	団体等の活動への支援件数（広報、補助・表彰・認定制度紹介と申請支援等） → 1 回 / 年（目標年に累計 10 回）
	3-2-3. 表彰や認定の取得に向けた支援	
目標 4 「自然の恵み」を所沢市の魅力アップにつなげます	4-3-1. 自然や生きものを楽しむ活動の充実	自然の保全や再生などの活動への参加体験の機会の提供数 → 2 回 / 年（目標年に累計 20 回）
	4-3-3. 所沢の自然や生きものの魅力の発信	多くの市民に対する普及啓発活動の実施回数（オンライン講座等も想定） → 2 回 / 年（目標年に累計 20 回）

(2) PDCAサイクルによる推進管理

本戦略の施策を確実に実施するために、計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Act）のPDCAサイクルによる推進管理を行います。

① 計画（Plan）

年1回、当該年度に実施する事業や取り組み、実施主体などを計画します。

② 実行（Do）

計画に基づき、さまざまな主体が協力しながら、取り組みを実施します。

③ 評価（Check）

年1回、取り組みの実施状況と数値目標の達成状況を点検・評価し、「所沢市みどりの審議会」に報告するとともに、市ホームページ等を通じ市民に公表します。

④ 改善（Act）

点検・評価の結果をふまえ、事業や取り組みの見直しが必要な場合には、取り組み方法などを改善します。

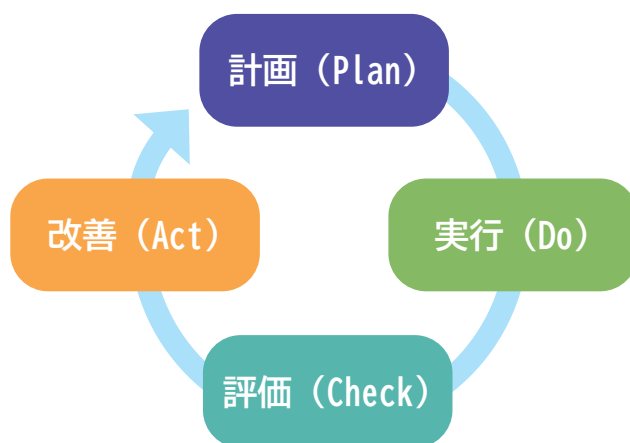


図 6-2 PDCAサイクルによる推進管理